

【第4回】

# 横須賀港 浅海域保全・再生研究会

日時：平成25年(2013年) 5月29日 (水)

会場：横須賀市役所消防局庁舎災害対策本部室



横須賀市 港湾部

# 目次

1. 第3回研究会での主な意見とその対応	3
1-1 主な意見とその対応	4
1-2 絞り込みのとりまとめ（案）について	8
2. 浅海域の整備工法について	9
3. 各候補地の求められる機能と整備方法	16
3-1 追浜地区リサイクルプラザアイクル前面海域	17
3-2 走水（伊勢町）地区前面海域	25
3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域	33
4. 財源について	41
4-1 補助金・交付金について	42
4-2 各候補地への適用の可能性	44
5. 試験的・先行的な取り組みについて	45
5-1 試験的・先行的取り組みの考え方	46
5-2 各候補地のハード的な取り組みについて	48
6. 候補地の優先度について	49
7. 検討会での調査項目の抽出	51
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点	53
8-1 今後（次回）の検討事項について	54
8-2 ご意見をいただきたい点	55

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

# 1-1 主な意見とその対応(1)

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
1. 絞り込みについて	1	北部の候補地については、「国土強靱化」や「港湾BCP」の考えを取り入れ、中長期的に取り組む場所としてほしい。 【近藤委員長】	各候補地について、利活用だけでなく、環境保全や環境改善の必要性からも見直し、「事業化に向けて検討を継続する場所」、「中長期的に事業化に向けての方策を検討する場所」などとして改めて評価をし、各候補地の事業化に向けての方針を示した上で、研究会・検討会において検討を継続する候補地を選定した（「1-2 絞り込みのとりまとめについて」）。
	2	3つに絞るのはよいが、残りの候補地は次の段階で考慮するなど、含みを持たせた選定方法もあるのではないか。【角委員】	
	3	事業を実施するかどうかの判断ならば利活用での整理でよいが、全ての候補地について「こうあるべき」という整理はしておくべき。 【本多委員】	
	4	候補地の評価について、「×」が付いた場所が必ずしも再生ができないわけではない。「○」は次のステップの検討に進める場所とし、「×」「△」については評価の一覧から外してほしい。 【古川委員】	

# 1-1 主な意見とその対応(2)

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
1. 絞り込みについて	5	候補地ごとにどのような浅海域を作るか検討した上で、さらに絞り込む必要もある。目指すべき浅海域のための整備ができるか考慮する必要もあるし、整備して得られる環境再生の評価も、利活用の評価とともに重要になるのではないかと考えている。【本多委員】	絞られた3つの候補地について、今後、地域特性を考慮した利活用、防災や環境面を整理した上で、3つの候補地の整備イメージ図を今回示した（「3. 各候補地の求められる機能と整備方法」）。
	6	生態系や生物学的な観点からの取り組みについては、候補地を絞らず、モデル・先行的事業の中で、テスト的に取り組むことが必要である。【秋元委員】	浅海域の保全・再生を検討していく上で、利活用と環境が大きな柱である。その両面を考慮して、まずは費用対効果等の観点から、短期的に事業化できる可能性がある3つの候補地について検討を進めることとし、環境保全・再生について最大の効果が得られるよう、委員の皆さまからご意見をいただき、できる範囲の取り組みを検討していきたい。
	7	環境再生の取り組みについても、絞られた3カ所、または、それ以外の場所で、スポット的に小さな範囲で取り組むことも必要だと考えている。【藤田委員】	

# 1-1 主な意見とその対応(3)

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
2. 関係者との調整や 取り組みについて	8	漁業者と話す際には、横須賀港全体を考える中で候補地として3カ所に絞り込んだ背景についてきちんと説明するべき。 【古川委員】	漁業者など関係者との調整については、保全・再生に対する各候補地の方針や絞り込みの考え方など、きちんと関係者に説明し、事業への理解を得たい。
	9	実際に候補地で活動が可能か確認する手段として「環境調査」をしてはどうか。【古川委員】	今後、さらに候補地の優先度を定めた上で、活動等の可否の確認や浅海域について理解を得るため、市民と環境調査を行うことも検討していきたい。
	10	浅場は漁業者にとっては漁場であり、市民にとっては安全な憩いの場であるという観点から作業を進めるべき。また、浅場に対する漁業者の認識について、研究会の中で話し合う必要がある。 【今井委員】	浅海域のあり方について、行政と漁業者、市民等が共通の認識を持つことは重要であるので、そのための話し合いや意見聴取の方法等についても検討していきたい。
	11	漁業者との話し合いを積極的に設けるべき。市民と漁業者が情報共有できるような簡単なシンポジウムを開催することを検討してはどうか。【近藤委員長】	



# 1-1 主な意見とその対応(4)

分類	No.	意見等（概要）	考え方（対応方針）案
3. 財源について	12	国の補助事業を利用するならば、3つの候補地では、侵食対策や高潮対策と併せて考えると、採択されやすいのではないか。 【新妻氏（森委員代理）】	事業の財源については、国の補助制度だけでなく、民間の助成金なども活用するなど広く情報収集を行い、防災など様々な角度から、現段階において横須賀港での取り組みに適用できる財源を検討した。（「4. 財源について」）
	13	「国土強靱化」や「港湾BCP」と絡めた事業が、国交省の補助制度で実施可能か。また、横須賀市が取り組もうとしていることに適用可能か調査すべき。 【近藤委員長】	
	14	環境再生は長期的な取り組みであり、市の予算だけでは難しい。国交省からのお二人の委員にも相談して、順々に取り組むべき。 【近藤委員長】	
4. その他	15	整備した場所のその後の評価が知りたい。 【今井委員】	浅海域の事例について、事業効果や関係者等からの評価は参考になることから、事例報告をしていただく場をつくることを検討したい。
	16	千葉港湾事務所のシーブルー事業について、角委員から報告をしてもらってはどうか。 【近藤委員長】	

# 1-2 絞り込みのとりまとめ(案)について

候補地	利活用への適合										利活用を阻害する要素	環境保全・環境改善の必要性	候補地の評価と方針		
	浅海域自体を使用する利活用							付加的な整備を伴う利活用		A：費用対効果等の観点から、短期的に事業化できる可能性があるため、検討を継続する候補地			B：中・長期的に事業化に向けての方策を検討していく候補地	C：現在の海域環境が維持できるよう経過観察していく候補地	
	憩いの場	イベント	環境教育習	海水浴	潮干狩り	磯遊び	釣り	レストラン等	客船バース等						
(1) 追浜地区リサイクルラック・ラック前面海域	△	○	○	○	△	○	○	○	△	△	特になし	一般に環境の悪い北部に位置し、東京湾全体の環境への寄与が大きいため、環境改善が望ましい	A	様々な利活用が可能であり、環境保全・環境改善が望ましいことから、本研究会・検討会において検討を継続する。	
(2) 深浦地区前面海域	○	×	×	×	△	×	○	×	×	×	特になし	閉鎖的な水域であり、海域環境の悪化も見られるため、環境改善が必要と考えられる	B	利活用の制限は大きいですが、環境改善が必要とされる場所であることから、事業化に向けては中・長期的に取り組んでいく	
(3) 長浦地区緑地護岸前面海域	○	△	×	×	×	×	○	×	×	×	特になし	閉鎖的な水域であり、海域環境の悪化も見られるため、環境改善が必要と考えられる	B	・護岸等の補修の際に環境改善を促進する構造も検討する ・港湾BCPや防災に関わる整備等の一環として環境改善に効果のある構造も検討する ・民間企業や市民協働事業等による環境改善の取り組みを推進・支援する	
(4) 本港地区グエルニー公園前面海域	△	○	×	×	×	×	○	△	×	×	×	ゴミ漂着の懸念	閉鎖的な水域であり、海域環境の悪化も見られるため、環境改善が必要と考えられる	B	
(5) 新港地区猿島周辺海域	×	△	○	○	○	○	○	○	×	×	×	天候・時間帯による利活用の制限	比較的環境が良く、自然海岸であるため必要性は低い	C	現在の海域環境を維持するよう経過観察していく
(6) 平成地区うみかぜ公園前面海域	○	○	△	○	△	△	○	○	△	×	×	急深地形で広域の整備は実現性に乏しい	近年の埋立て自然海岸が消失したため、環境改善が望ましい	B	様々な利活用が可能であるが、整備費用が大きくなることから、他の開発的な事業を検討する際に併せて検討するなど、事業化に向けては中・長期的に取り組んでいく
(7) 走水(伊勢町)地区前面海域	△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	特になし	比較的環境は良いが、海岸侵食等により浅海域が失われつつあり、環境保全が望ましい	A	様々な利活用が可能であり、環境保全・環境改善が望ましいことから、本研究会・検討会において検討を継続する。	
(8) 浦賀地区住重護岸前面海域	×	○	△	○	△	△	○	○	△	×	×	背後地開発状況が不透明	比較的環境が良く、自然海岸に隣接しているため必要性は低い	C	現在の海域環境を維持するよう経過観察していく
(9) 久里浜(長瀬)地区前面海域	○	○	○	△	△	○	○	○	×	×	特になし	港内は貴重な漁場であるが、環境が悪い場所もあるため、環境改善が望ましい	A	様々な利活用が可能であり、環境保全・環境改善が望ましいことから、本研究会・検討会において検討を継続する。	

※1 伝統的風習・防災の利活用に関しては、必要条件の定義がないことから、本表では整理しない。

※2 海域環境条件の評価を伴う利活用に関しては、浅海域整備によって条件を満足する保証がないことから、現状の海域環境を基に評価している。





1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

## 2. 浅海域の整備工法について

### (1) 人工砂浜・人工干潟（覆砂）

#### 特徴

- ・潮の干満差によって汚濁海水が人工砂浜・干潟に流出入し、水中の浮遊懸濁物質がろ過され除去される
- ・陸と海との境界の酸素の豊富な場所であるため、好気性細菌などによる有機物などの分解も盛んで、海水の浄化が図れる
- ・また、海浜・水生生物・鳥・魚介類などの生物相も豊富で各種生物の生産生息の場ともなりうると共に、自然海浜景観の造成も図れる

#### 長所

- ・砂浜の持つ砕波機能や生物・植物の生息・生育域としての機能を再生できる
- ・海水浴等の海洋性レクリエーションの場とすることができる

#### 課題

- ・環境への定量的な効果の把握が課題である
- ・波浪条件等、養浜材（覆砂材）が安定する形状とする必要がある



干潟のトビハゼ(出典:環境省名古屋自然保護管事務所HP)



海の公園(横浜市)の人工砂浜(出典:横浜市環境創造局HP)

## 2. 浅海域の整備工法について

### (2) 人工磯

#### 特徴

- ・通常、砕波のためのテトラポットなどのコンクリートブロックや岩石を海底に積層化したり、ランダムに沈設築造し、時間の経過とともに貝類や藻類が次第に付着して、魚礁としての作用を生み出し、例えば集魚や魚類の再生産の効果がある

#### 長所

- ・豊かな生態系の形成が期待されるとともに、親水機能にも優れていることから、環境教育の場としての利用も考えられる

#### 課題

- ・特に浅い海域では波浪の影響を直接受けて、倒壊・流出・散乱の恐れがある



荒崎(横須賀市)の磯(岩場) (出典:横須賀市HP)



人工磯での磯遊び(大森ふるさとの浜辺公園)



## 2. 浅海域の整備工法について

### (3) 藻場・海中林

#### 特徴

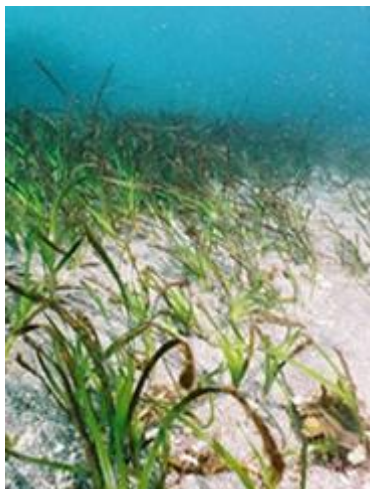
- ・魚介類の産卵場、餌場、成育場であるとともに、水中の栄養塩を吸収する海藻草類の働きや海藻草類を基盤として生息する動物の摂餌活動による有機物の取り込みが期待でき、生物生産機能の向上および広域的な環境改善にも寄与すると考えられる

#### 長所

- ・浄化能力の高い安定した生態系を形成することができれば、持続的に環境改善を行うことができる
- ・生物の生息・生産場としての価値もあり、環境教育の場としての利用が考えられる

#### 課題

- ・生態系全体でみた浄化能力についての評価や予測が困難
- ・藻場造成による環境改善は、生息する生物や生態系の機能に依存したものであるため、即効性は必ずしも期待できない



佐島(横須賀市)の藻場 (出典:横須賀市HP)



荒崎(横須賀市)の海中林 (出典:横須賀市HP)

## 2. 浅海域の整備工法について

### (4) 防波施設

#### 特徴

- ・ 直立堤等の不透過構造物や消波ブロック堤等の透過構造物があるが、いずれも背後水域を静穏にし、砂浜等の維持を可能とするものである
- ・ 砂浜・干潟を造成する際には、砂止めの機能を有する
- ・ 最近では海水交換が可能なものや、基礎マウンド形状・材料を工夫し藻場造成・生物生息機能の向上を図った環境共生型の防波堤も整備されている

#### 長所

- ・ 壁面に付着した貝類や海藻を餌となり魚が集まり、また、消波ブロック等を設置する場合は、岩礁帯に生息する定着漁の棲み家となるなど、魚貝類の増集効果が期待できる
- ・ 水面下の捨石やコンクリートブロックに付着した海藻類による水質浄化や魚礁などの機能を有する
- ・ 水際線からすぐにある程度の水深帯が広がるため、釣りがしやすい（ただし、安全対策も必要）

#### 課題

- ・ 閉鎖的に防波施設で囲むと水質が悪くなる可能性がある
- ・ 防波堤の構造によっては占有する海底面が大きくなる
- ・ 背後の漂砂のコントロールについて、詳細な検討が必要になる

## 2. 浅海域の整備工法について

### (4) 防波施設

魚貝類の  
蛸集など



背後水域で水  
質が悪くなるこ  
とがある

不透過の防波堤の例



三田尻中関港(防府市)の環境配慮型防波堤  
(出典:国土交通省港湾局HP)

魚礁として  
の効果など



景観が問題視さ  
れることが多い

消波ブロックによる傾斜堤の例

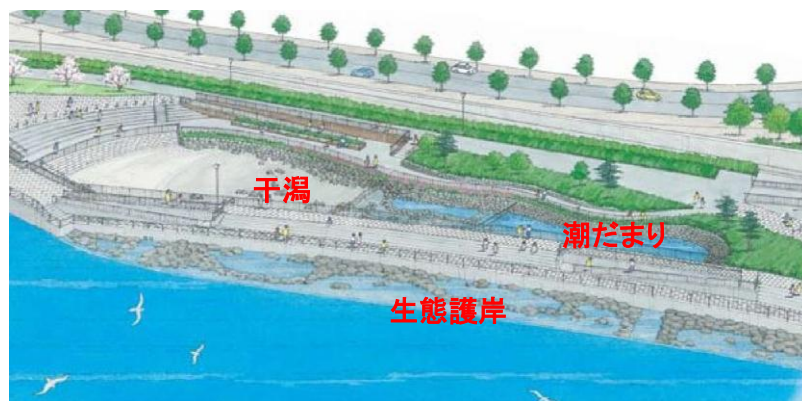


青森県木野部海岸の築磯  
(出典:国土交通省港湾局「新たな海辺の文化創造」HP)



## 2. 浅海域の整備工法について

### (5) 整備の工夫



高島水際線公園  
(出典:横浜市HP)



人工干潟を用いた環境共生護岸『潮彩の渚』  
(出典:国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所HP)

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

# 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(1)

## (1) 現地状況の整理



- ・ 前面が区画漁業権区域
- ・ 候補地付近には環境施設が立地
- ・ 市民団体が環境活動を実施



## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(2)

### (2) 地区の特徴と候補地のコンセプト

#### ①地区の特徴

- 工場や倉庫等、主に企業が立地しており、海に親しめる場が少ない。
- 当該地区の主な企業である日産自動車(株)はサッカーJリーグ 横浜Fマリノスの親会社であり、当地においてもサッカーアカデミーの実施、日産カップ(車いすマラソン)の開催等、スポーツへの理解が深い。また、市民マラソン(追浜マラソン)の実施等、地区としてもスポーツに力を入れている。
- 市の環境施設「リサイクルプラザアイクル」、「追浜浄化センター」や、東京ガス横須賀パワーステーション(天然ガスを利用したエコな発電所)が存在している。

#### ②候補地のコンセプト

*海辺でのスポーツや環境体験をとおして、海を楽しみ、海を学ぶ*

※キーワード：工場地帯、スポーツ(サッカー、マラソン)  
リサイクルや水の環境施設

## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(3)

### (3) 浅海域に求められる機能 (①利活用の観点)

- 背後地の、市の環境施設「リサイクルプラザアイクル」、「追浜浄化センター」や、東京ガス横須賀パワーステーション（天然ガスを利用したエコな発電所）との連携（環境教育・環境学習）に配慮した一体的な施設整備・配置



海の環境教育・環境学習として適した干潟や藻場、潮だまりの整備、環境教育・環境学習の講座の場としての建物の整備

- 近隣の横浜市海の公園においてアサリが自然発生していることから、同候補地においてもアサリが生息する可能性が高く、潮干狩りの利用を見据えた施設整備・配置



比較的広い干潟の整備

- 近隣企業の就労者の憩いの場として利用できる施設整備・配置

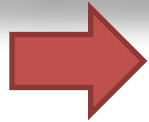


ボードウォーク、ベンチ、ランニングコース等の整備

## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(4)

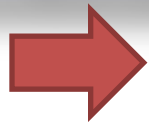
### (3) 浅海域に求められる機能 (①利活用の観点)

- 横浜Fマリノスの親会社であり、スポーツイベント等も行っている日産自動車(株)の近隣に位置することから、スポーツイベントの開催を見据えて、ビーチバレー(縦16×横8m)・ビーチサッカー(縦37×横28m)等が可能な施設整備・配置
- 「Yフェスタ追浜」などのイベント会場として利用できるような施設整備・配置
- 広い水域が確保できることから海水浴が可能な施設整備・配置



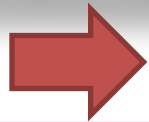
広い**砂浜**の整備

- 近隣は工場地帯であり、飲食できる施設が少ないことから、浅海域利用者や来訪者に対して飲食物を提供できる施設の配置



**レストラン・カフェ店舗**の誘致

- 駅から離れた場所であるため、車で来訪できるような施設整備・配置



**駐車場の整備**



## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(5)

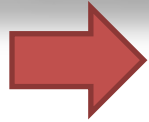
### (3) 浅海域に求められる機能 (②防災の観点)

- 背後地のガス発電施設、下水処理施設等は、被災時にも早期の使用が望まれる施設であり、護岸の老朽化による被災やそれに伴う波浪の被害からの防護



護岸の改良、砂浜・干潟の整備、防波施設の整備など

- 潮干狩りを見据えると細粒な底質を緩勾配に配置することが求められる。当該地区は2m程度(30年確率波)の高波浪が来襲することから、底質安定のための防波構造物を整備



防波施設の整備など

## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(6)

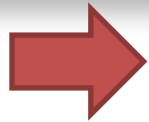
### (3) 浅海域に求められる機能 (③環境・漁業の観点)

- 水産用水基準（底質）やアマモ・アサリの生育上好ましい底質基準を達成していないため底質改善の整備



覆砂、砂浜・干潟など、上質な底質を投入する  
(ただし、実際はアマモ移植に成功し、近隣浅場でアサリが自生)

- 周辺の水際線は直立護岸がほとんどであるため、多様な生物が生息できる場としての整備



砂浜や干潟、磯場（潮だまり）等、多様な水際線の整備

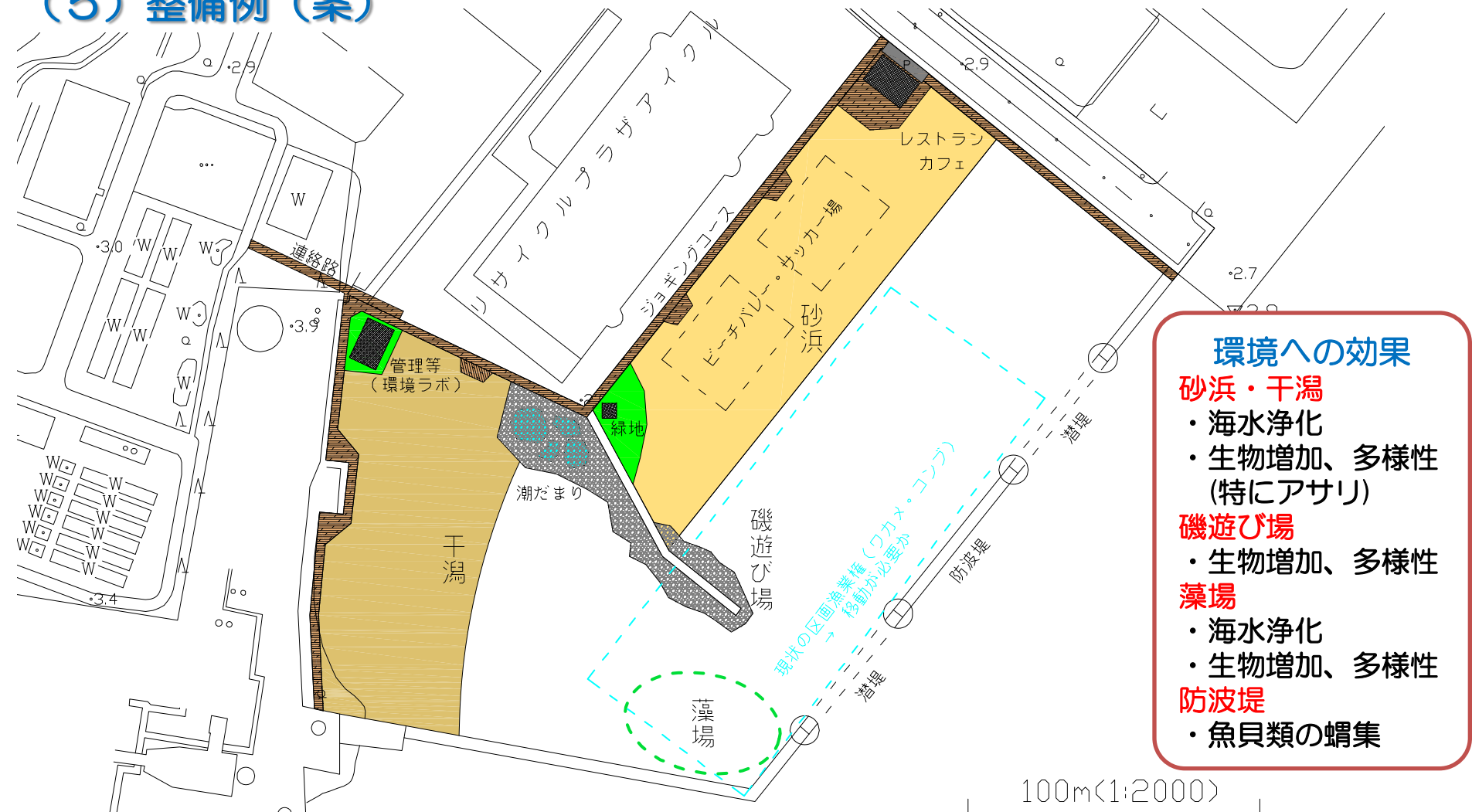
## 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(7)

### (4) 整備の構成案

整備項目	整備効果	課題等	優先度
人工砂浜・干潟	環境教育、潮干狩り、散歩、海辺スポーツ、海水浴、イベント、水質・底質改善、生物増加・多様性、護岸・背後地防護	水深がある程度深いため、砂の量が多くなり、防波施設が必要	A
人工磯（潮だまり）	環境教育、生物増加・多様性、磯遊び、護岸・背後地防護		A
藻場	環境教育、生物増加・多様性、魚介類の蛸集、海辺のゾウ（シュノーケリング等）	海水浴の際には邪魔であるため、ゾウング必要	B
防波施設	護岸・背後地防護、砂浜・干潟の維持、魚介類の蛸集、砂止め	水深がある程度深いため、規模が大きくなる	必要に応じて
ボードウォーク等	散歩、ジョギング		B
管理棟（講義棟）	環境教育、その他（トイレ、シャワー等）	管理人等が必要 既存施設で代替可	C
レストラ・カフェ等	集客		A
駐車場	集客		C

# 3-1 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域(8)

## (5) 整備例 (案)



- 環境への効果**
- 砂浜・干潟**
    - 海水浄化
    - 生物増加、多様性 (特にアサリ)
  - 磯遊び場**
    - 生物増加、多様性
  - 藻場**
    - 海水浄化
    - 生物増加、多様性
  - 防波堤**
    - 魚貝類の蛸集

海辺スポーツを楽しめる砂浜エリアと潮干狩りや環境教育・環境学習を行う干潟エリアにゾーニングし、二つのゾーンを隔てる部分に磯遊び場（潮だまり）を配置した例





## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(1)

### (1) 現地状況の整理



## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(2)

### (2) 地区の特徴と候補地のコンセプト

#### ①地区の特徴

- 神奈川ブランドである海苔の産地であり、漁業が当地区の主要な産業となっている。
- 現在、一部の区間が海水浴や潮干狩り場となっている。
- 馬堀海岸のプロムナードの延長に位置し、うみかぜの路（海と緑の10000メートルプロムナード）の一部である。付近には桜の名所（走水水源地）や美術館が立地している。

#### ②候補地のコンセプト

**今ある海岸を守り、活かして、海のある生活や環境を享受する**

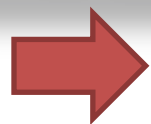
※キーワード：漁業、漁村、砂浜保全（海岸侵食）、プロムナード



## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(3)

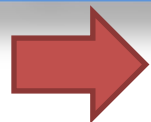
### (3) 浅海域に求められる機能（①利活用の観点）

- 馬堀海岸のプロムナードの延長に位置し、桜の名所の走水水源地も近隣にあることから、散策やランニングを楽しむ市民等の憩いの場となる施設整備・配置



ボードウォーク、ベンチ等の整備

- 現在、一部の区間において海水浴、潮干狩りが実施されており、同様に海水浴、潮干狩りの利用を見据えた施設整備・配置



砂浜や干潟（勾配の緩い砂浜）の整備

- 生物相が豊かであり、海の環境を体験できる場として、環境学習・環境教育等、環境イベントを考えた施設整備・配置



砂浜、藻場の保全・維持、潮だまりの整備、環境教育・環境学習の講座の場としての建物の整備

## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(4)

### (3) 浅海域に求められる機能（①利活用の観点）

➤ 漁業振興の一環として、漁業体験ができるような施設整備・配置



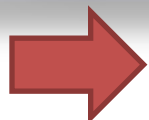
海苔すき体験ができる**建物**の整備

➤ 神社の神事等による利用



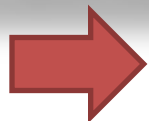
**砂浜**や**砂浜**への**アクセス路**の整備

➤ 物産品の販売や食堂など地産地消をテーマとした施設の整備



**レストラン**・**土産物店**等の誘致（漁協等）

➤ 駅から離れた場所であるため、車で来訪できるような施設整備・配置

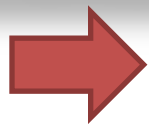


**駐車場**の整備

## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(5)

### (3) 浅海域に求められる機能（②防災の観点）

- 北系の高波浪の影響等による侵食が見受けられるため、砂を堆積させるための施設整備や養浜



防波施設、突堤等の侵食対策、砂浜造成など

- 潮干狩りを見据えると細粒な底質を緩勾配に配置することが求められる。当該地区はそれなりに高波浪が来襲することから、底質安定のための防波構造物の整備



防波施設の整備など

## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(6)

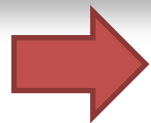
### (3) 浅海域に求められる機能（③環境・漁業の観点）

- 底質CODが水産用水基準（底質）を未達成であり、アマモ・アサリの生育上好ましい底質基準も未達成であることから、覆砂など底質改善の整備



覆砂、砂浜・干潟など、上質な底質を投入する  
（ただし、実際はアマモが自生し、アサリが生育している）

- のり養殖が盛んであり、養殖地として遠浅で水質の良い場所を維持できる整備



海水が循環し、適度に水質が確保できる外郭施設の整備

- 底生生物の種類も多い場所であり、現在の良好な環境を壊さない整備手法



可能な限り小規模で周辺への影響の小さい改変

## 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(7)

### (4) 整備の構成案

整備項目	整備効果	課題等	優先度
人工砂浜・干潟	環境教育、潮干狩り、散歩、海水浴、イベント、底質改善、生物増加・多様性、背後地防護	良好な海域環境を壊さないよう規模設定に注意を要する 既存藻場と海水浴利用の相反等に対して、ゾーニングや利用ルールが必要	A
人工磯（潮だまり）	環境教育、生物増加・多様性、磯遊び、背後地防護		B
防波施設	背後地防護、砂浜・干潟の維持、魚介類の蛸集	漂砂や生物環境のバランスに注意が必要 浅い海域での設置のため、築磯等の検討も可能	必要に応じて
ボードウォーク等	散歩、ジョギング、憩いの場（背後地の水源地との一体化）		A
管理棟（講義棟）	環境教育、漁業振興（漁業の理解）、その他（トイレ、シャワー等）	管理人等が必要 既存施設で代替可	C
レストラン・土産店等	集客、漁業振興		A
駐車場	集客	駐車場を整備するためには海側への埋立が必要	B

# 3-2 走水（伊勢町）地区前面海域(8)

## (5) 整備例（案）

### 環境への効果

#### 砂浜・干潟

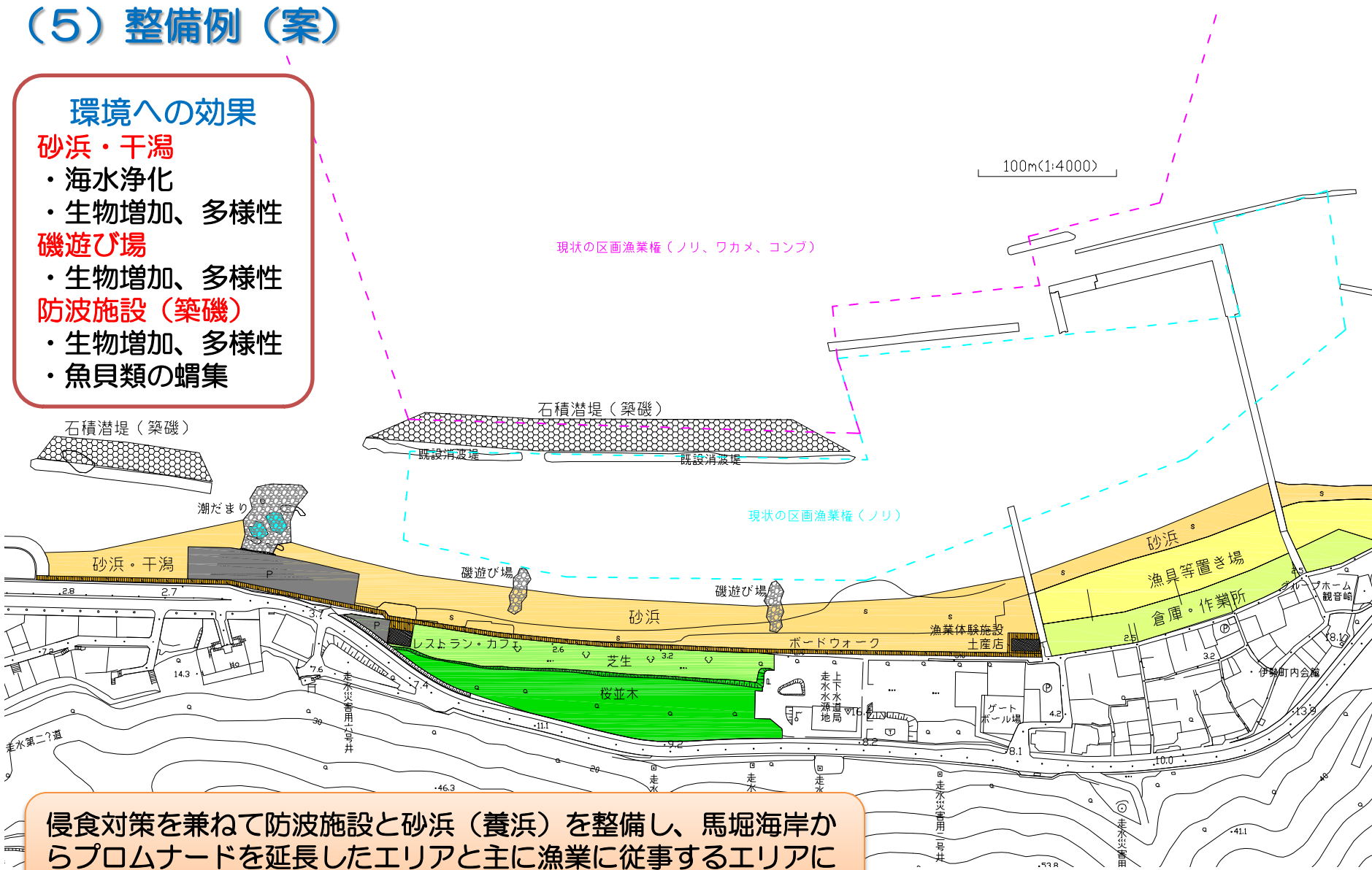
- ・海水浄化
- ・生物増加、多様性

#### 磯遊び場

- ・生物増加、多様性

#### 防波施設（築磯）

- ・生物増加、多様性
- ・魚貝類の蛸集



侵食対策を兼ねて防波施設と砂浜（養浜）を整備し、馬堀海岸からプロムナードを延長したエリアと主に漁業に従事するエリアにゾーニングした例





# 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(1)

## (1) 現地状況の整理



- ・平作川河口部の海岸と磯場は憩いの場となっている
- ・付近には港湾関連の研究機関が立地
- ・港湾緑地計画あり
- ・港内であるが比較的広い空間を確保できる

## 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(2)

### (2) 地区の特徴と候補地のコンセプト

#### ①地区の特徴

- 市街地から近く、また、久里浜町は市内で最も人口が多い地域。
- 国土技術政策総合研究所や（独法）港湾空港技術研究所が隣接している。
- 平作川河口の南側は休日には多くの人々が来訪し海辺空間を楽しむ砂浜の海岸がある。
- 平作川河口の北側（候補地周辺）には磯場が点在している。

#### ②候補地のコンセプト

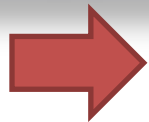
*にぎわいある海で、海に親しみ、海と育つ*

※キーワード：市街地、集客、磯場、国総研・港空研

## 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(3)

### (3) 浅海域に求められる機能 (①利活用の観点)

- 付近には住宅も多いことから、市民の憩いの場、子供たちが海を感じて育つ場として利用できる施設整備・配置



緑地やボードウォーク、干潟・磯遊び場等の海の生き物の生息場の整備

- 市街地から近く、河口を挟んだ南側の砂浜に多くの人々が来訪している実績があるため、同様に多くの人々の来訪を目指した施設整備・配置



緑地や砂浜を広くとった配置

- 生物相が豊かであり、海の環境を体験できる場として、国総研や港空研との連携を図った環境学習・環境教育等、環境イベントを考えた施設整備・配置

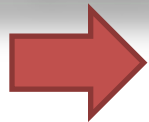


藻場、干潟、潮だまりの整備

## 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(4)

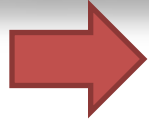
### (3) 浅海域に求められる機能（①利活用の観点）

- 場所も広く、底質改善でアサリが生育できる可能性もあることから、潮干狩りの利用を見据えた施設整備・配置



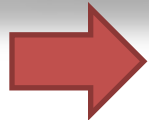
干潟（勾配の緩い砂浜）の整備

- どんど焼き等のイベントの利用



砂浜や砂浜へのアクセス路の整備

- 市街地に近く駐車場が少ないことから、駐車場の整備が必要

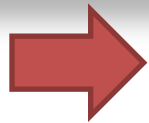


駐車場の整備

## 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(5)

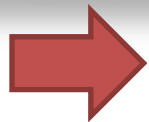
### (3) 浅海域に求められる機能 (②防災の観点)

- 高波浪時の道路への越波が見受けられるので、越波を防ぐ整備



防波施設の整備、砂浜造成など

- 地域の住民の災害時における避難場所、瓦礫等の一時撤去先（仮置き場）としての利用を考えた整備



緑地や砂浜を広くとった配置



## 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(6)

### (3) 浅海域に求められる機能 (③環境・漁業の観点)

- 冬季の全硫化物が水産用水基準を未達成であり、アマモ・アサリの生育上好ましい底質基準も未達成であることから、覆砂など底質改善の整備



覆砂、砂浜・干潟など、上質な底質を投入する  
(ただし、実際はアマモが自生している)

- 底生生物の種類も多い場所であり、良好な岩礁帯が見られるため、現在の良好な環境を壊さない整備



岩礁を活かして、磯遊び場（潮だまり）の整備

### 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(7)

#### (4) 整備の構成案

整備項目	整備効果	課題等	優先度
人工砂浜・干潟	環境教育、散歩、イベント、水質・底質改善、生物増加・多様性、背後地防護、海水浴、潮干狩り	現地の岩礁域を活かすには、規模設定に注意を要する	A
人工磯（潮だまり）	環境教育、生物増加・多様性、磯遊び、背後地防護	現地の岩礁域を活かした配置検討が必要	A
藻場	環境教育、生物増加・多様性、魚介類の蛸集、海辺のゾウガイ（シュノーケリング等）	海水浴の際には邪魔であるため、ゾウガイ必要	B
防波施設	背後地防護、砂浜・干潟の維持、魚介類の蛸集		必要に応じて
ボードウォーク等	散歩、ジョギング、憩いの場		B
緑地	散歩、ジョギング、憩いの場		B
駐車場	集客		A

# 3-3 久里浜（長瀬）地区前面海域(8)

## (5) 整備例 (案)

### 環境への効果

#### 砂浜・干潟

- ・海水浄化
- ・生物増加、多様性

#### 磯遊び場

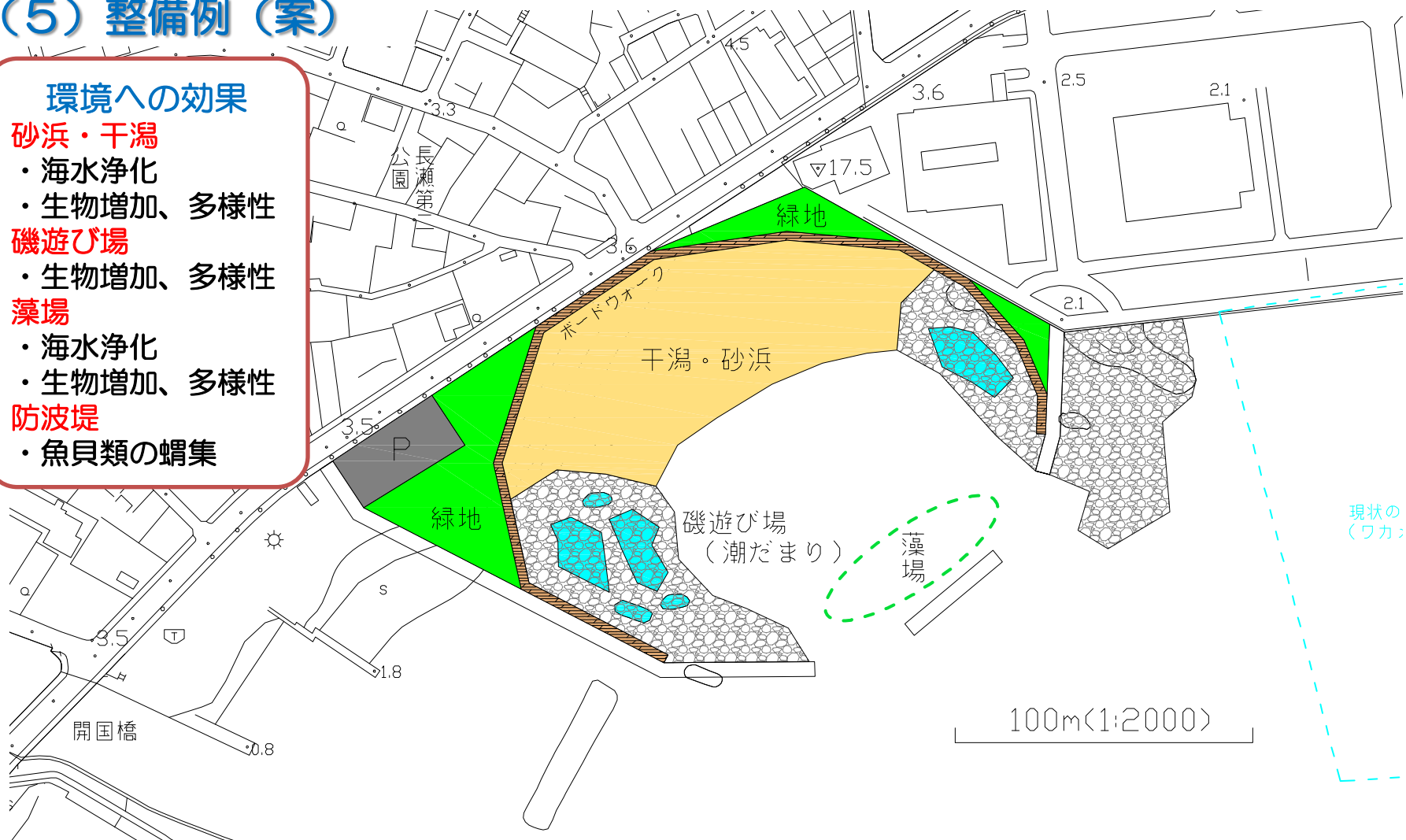
- ・生物増加、多様性

#### 藻場

- ・海水浄化
- ・生物増加、多様性

#### 防波堤

- ・魚貝類の蛸集



各種イベントや海水浴等を楽しむ砂浜エリアの両サイドに海の生物と接することができる磯遊び場・潮だまりを配置した例

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

# 4-1 補助金・交付金について(1)

## (1) 社会資本整備総合交付金

### 概要

活力創出、水の安全・安心、市街地整備、住宅支援といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を総合的・一体的に支援

### 基幹事業

#### 港湾事業

##### ◆緑地等施設整備事業

- ・臨港地区就業者のための快適な就労環境の確保
  - ・港湾を訪れる市民等に関かれたウォーターフロントの形成
  - ・震災時の避難地・防災拠点となるオープンスペースの確保
- ##### ◆海域環境創造・自然再生等事業
- ・海域の環境改善及び適正な港湾利用のための、水質・底質改善等

#### 海岸事業

##### ◆高潮対策

- ・高潮や波浪等の被害が発生するおそれのある地域について、堤防・護岸・離岸堤・突堤等の海岸保全施設の新設又は改良

##### ◆侵食対策

- ・海岸侵食により被害が発生するおそれのある地域について、堤防・護岸・離岸堤・突堤等の海岸保全施設の新設又は改良

##### ◆海岸環境整備

- ・堤防、突堤、護岸、離岸堤、人工リーフ、砂浜、植栽、緩衝帯としての緑地・広場やその他所期の目的を達成するための必要最小限の施設の新設、改良



関連する社会資本整備

効果促進事業



# 4-1 補助金・交付金について(2)

## (2) 防災・安全交付金

### 概要

地域の防災・減災、安全を実現する「整備計画」に基づく、地方主体の以下のような取組みについて、基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備や効果促進事業を総合的・一体的に支援

- ◆地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策及び事前防災・減災対策の取組み
- ◆地域における総合的な生活空間の安全確保の取組み
- ◆効果促進事業の活用による効果的な取組み



## (3) 民間助成金

日本財団、トヨタ財団、セブン・イレブン財団…等

非営利活動や公益事業を行う団体を対象とし、清掃活動など地域での身近な取組みや普及啓発活動を支援



整備後、市民等による浅海域を活かした活動に利用可能

## 4-2 各候補地への適用の可能性

### (1) 追浜地区リサイクルプラザイクル前面海域

求められる機能

- ・震災時における、背後地のガス発電施設や下水処理施設等のインフラ設備の防護
- ・震災時は防災拠点、平時はビーチサッカー等ができるオープンスペース
- ・近隣の工業地帯の就業者へ快適な就業環境…等

社会資本整備  
総合交付金

防災・安全  
交付金

- ・(港湾事業) 緑地等施設整備事業
- ・(港湾事業) 海域環境創造・自然再生等事業

### (2) 走水（伊勢町）地区前面海域

求められる機能

- ・北系の高波浪の影響等による侵食対策
- ・プロムナードや海水浴場、潮干狩りの場として、市民や来訪者が憩える場…等

防災・安全交付金

- ・(海岸事業) 侵食対策事業

### (3) 久里浜（長瀬）地区前面海域

求められる機能

- ・震災時は防災拠点、平時は多くの人が集まることができるオープンスペース
- ・付近には住宅が多く、市民の憩いの場…等

社会資本整備総合交付金

- ・(港湾事業) 緑地等施設整備事業

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

## 5-1 試験的・先行的取り組みの考え方(1)

### ①ハード的取り組み

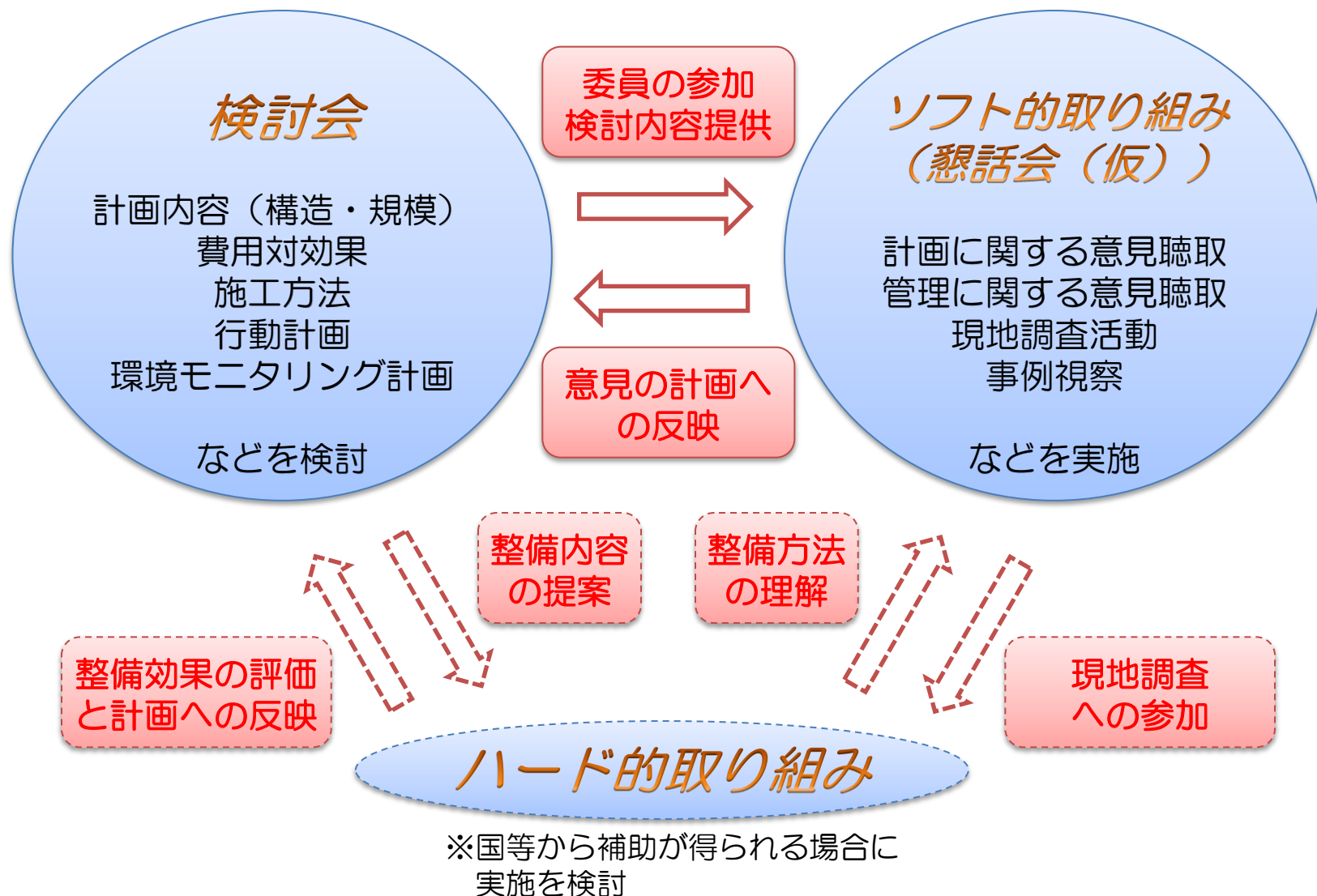
- ・ 実際の整備方法に則した、小規模な整備を現地あるいは近隣海域において実施
- ・ 整備方法に対する現地における効果を検証
- ・ 必要に応じて改良を加えながら、より効果的な整備方法を検討
- ・ 結果を全体の整備計画に反映

- ・ 小規模な整備だとしても横須賀市が単独でハード的な取り組みを実施することは財政上困難であるため、国・県等の補助が得られるか模索し、適用できるものがあれば実施を検討

### ②ソフト的取り組み

- ・ 整備する箇所の地元住民・漁業者・企業等に対して、検討会と並行して事業説明を行ない、事業に対する理解を得る
- ・ 実現に向けて住民の意識を高めるために懇話会等を実施し、計画内容や整備後の管理内容等に関する意見聴取や候補地周辺での活動を行っていくことで、住民等が自ら計画や整備後の管理に参画するような環境を整える。
- ・ 懇話会には行政（横須賀市）のほか、検討会からも一部の委員（学識経験者等）が参加し、連携して計画立案を実施していきたい。

# 5-1 試験的・先行的取り組みの考え方(2)





## 5-2 各候補地のハード的な取り組みについて

### (1) 追浜地区リサイクルプラザイクル前面海域

評価の視点	干潟生物（主にアサリ）、磯の生物の生息状況
整備場所	当該海域のうち、波浪の影響が小さい場所、当該海域に近い深浦湾口近くの静穏な場所（ただし、一般の人が入れる場所）
整備内容	・干潟 ・人工磯 など 実際に使用を想定した材料を用い、生物の変化を評価

### (2) 走水（伊勢町）地区前面海域

評価の視点	砂浜の維持及び砂浜・磯の生物の生息状況
整備場所	当該海域の一部
整備内容	・砂浜 ・人工磯 ・防波施設 など 生物の変化の評価、人工磯や防波施設による砂の補足状況の把握

### (3) 久里浜（長瀬）地区前面海域

評価の視点	干潟・砂浜生物、磯の生物の生息状況
整備場所	当該海域の一部
整備内容	・砂浜 ・干潟 ・人工磯 など 実際に使用を想定した材料を用い、生物の変化を評価

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

## 6. 候補地の優先度について

候補地	利活用面	環境面	防災面	財源	経済性	優先度
追浜地区 リサイクルプラザ アイクル 前面海域	○ 様々な利活用により継続的に集客が望め、北部で数少ない親水エリアとして有効である	○ 一般に環境が悪い北部地区に位置し、アサリ生息の可能性が高いため、環境再生が期待できる	○ 護岸の老朽化対策も兼ねた整備となり、震災時等の背後地防護機能の向上が期待できる	○ 防災面での緊急性が低いため、現状では事業採択の面で劣る	○ 水深が比較的大きく、防波堤等の整備が必要なため、事業費は大きくなる可能性が高い	2 環境面から整備の必要性が高いが、事業採択の面で走水に劣る可能性がある
走水 (伊勢町) 地区 前面海域	○ うみかぜの路の一部であり、集客による地域活性化が期待でき、かつ漁業振興につながる	○ 環境面からの整備の必要性は低いが、築磯等の整備により、生物生息環境の向上が期待できる	○ 海岸侵食に伴い、貴重な浅海域が失われつつあるため、対策の必要性が高い	○ 防災面での緊急性が高く、事業採択の可能性は高い	○ 水深が浅いことから、事業費はそれほど大きくならない可能性がある	1 防災面から整備の必要性が高く、事業採択の可能性が高い
久里浜 (長瀬) 地区 前面海域	○ 東京湾フェリーの就航や住宅地が近接していることから、来訪者や地元住民等多くの人々の利活用が期待できる	○ 港内には環境が悪い箇所もあることから、整備により港内の環境再生が期待できる	○ 背後道路への越波が発生しているため、対策することが望ましい	○ 越波に対する効果は有るが、対象範囲が狭く緊急性は低いため事業採択の面で劣る	○ 水深が浅いことから、規模や防波施設の必要性により安価となる可能性がある	3 環境面、防災面での効果や事業採択の面で他候補地に劣る可能性がある

1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

# 7. 検討会での調査項目の抽出

## 検討会について

- 平成26年度～平成27年度の2年間
- 研究会の委員のほか、地域・利用者の代表者等を加えて構成
- 浅海域の ①整備計画、②施工方法、③費用対効果、  
④環境モニタリング計画、⑤行動計画 などの検討を実施予定

## 必要な調査項目について

### 【現地の自然条件の把握】

- ・ 深浅測量  
地形条件把握、整備規模検討
- ・ 水質・底質・生物調査  
環境面の目標設定
- ・ 漂砂調査（走水の場合）  
漂砂状況の把握  
（波浪・流況調査、深浅測量、  
漂砂シミュレーション等）
- ・ 地質調査（構造物設置が必要な場合）  
構造物の安定検討条件

- ①整備計画検討
- ②施工方法検討

### 【利用者要望の把握】

- ・ 市民アンケート調査  
一般市民の意見の把握
- ・ 懇話会（仮）開催  
地元住民等の意見の把握

### 【効果の検証】

- ・ 試験的・先行的事業

主にH26

- ③費用対効果検討
- ④環境モニタリング計画検討
- ⑤行動計画 など

- ・ アンケート調査  
費用対効果検討用
- ・ 費用対効果分析調査
- ・ 環境モニタリング計画調査
- ・ 行動計画検討調査

主にH27





1. 第3回研究会での主な意見とその対応
2. 浅海域の整備工法について
3. 各候補地の求められる機能と整備方法
4. 財源について
5. 試験的・先行的な取り組みについて
6. 候補地の優先度について
7. 検討会での調査項目の抽出
8. 今後の課題とご意見をいただきたい点

## 8-1 今後（次回）の検討事項について

### （1）先進事例視察

- ・他の港湾や海岸で整備された浅海域の事例について視察し、第5回研究会において報告

### （2）行動計画に関する検討

- ・行政（市役所、行政センター、関係行政機関）、地元住民、地元企業等が浅海域に対してどのように行動していくかについて整理

### （3）検討会での検討項目に関する検討

- ・平成26年度からの「検討会」において議論すべき検討項目や調査項目について整理

### （4）報告書・意見書の作成検討

- ・本研究会での研究結果についてとりまとめ、市長への報告書・意見書等を作成

### ○ 各候補地の整備内容について

- ・整備内容の検討方法について
- ・整備の優先項目について
- ・候補地の優先度について

### ○ 財源について

### ○ 試験的・先行的な取り組みについて

### ○ 検討会(平成26年度以降)での 調査項目について

- ・検討事項の内容について
- ・その他に検討すべき事項について



## 横須賀市港湾部

【事務局】 横須賀市 港湾部 港湾企画課 港湾計画係  
TEL : 046-822-9464 FAX : 046-826-3210  
E-mail : pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp